



令和5年度 いじめ防止標語コンクール 優秀賞作品

けしゴムで けせない ことばも あるんだよ
むつ市立奥内小学校 1年 立花 奏楽

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

*受賞当時の学校と学年です

誰かがじゃない 君がやらなきゃ 変わらない
県立八戸中央高等学校 1年 島守 陽菜

グローバル人財育成に向けて! 台湾の高校生との協働学習

県教育委員会と台北市政府教育局が了解覚書を締結し、県内の5校が台北市の高校と交流しています。

青森から世界へ向かってチャレンジするグローバル人財育成事業

インバウンド需要で青森県にも海外からの観光客が多数来県し、街中で海外の方を見かけたり、よく行くコンビニの店員が海外の方だったりと、みなさんの身の回りでもグローバル化を感じる機会が増えたのではないでしょうか。

グローバル人財の育成には英語等の語学力だけではなく、グローバルな視野や感覚を身につけることが必要です。そのため県教育委員会では、海外の生徒との交流機会を増やし、青森から世界へ向かってチャレンジする、将来の本県の産業・ビジネス等を担うグローバル人財の育成に取り組んでいます。

今回はその取組の1つである「青森と台湾の高校生による協働学習推進プログラム」での交流の様子についてご紹介します!

*了解覚書締結校:弘前工業高校、三本木農業恵拓高校、青森商業高校、五所川原高校、三本木高校

青森県での交流

今年度は台北市の2校から高校生が来県し、本県生徒と交流しました!

三本木高校と大理高級中学

日本と台湾の文化や考え方について英語によるグループ協働学習を行いました。

また、昼食時には日本の食文化についてのプレゼンテーションを行い、茶道を体験してもらいました。



弘前工業高校と大安高級工業職業学校

交流日がちょうど文化祭だったので、グループ毎に文化祭を見学しました。

各学科や企業のブースを見て意見交換をし、模擬店や学校の学食を体験してもらいました。



*台湾では高校のことを「高級～」と表します。

台湾での交流

今年度は1月までに本県の4校から高校生が訪台し、交流を行いました!

三本木農業恵拓高校は2月下旬
交流予定! 後日県教委ホームページにて交流の様子をご紹介します。

青森商業高校と 士林高級商業職業学校

士林高商の生徒と一緒に県産品を使った菓子の販売実習を行いました。

販売に向けてレイアウトの工夫やPOPの制作を協力して行い、準備した商品は見事完売しました。



弘前工業高校と 大安高級工業職業学校

昼食に魯肉飯(ルーローハン)を大安高工の生徒と一緒に食べて、午後は部活動の体験をしました。

参加した部活動は卓球やバドミントンのほか、手芸やダンスと様々でした。



五所川原高校と 永春高級中学

午前中は調理実習で地元の料理を作り、永春高中の生徒と一緒に昼食を食べました。

午後は英語による文化交流活動と歓迎セレモニーでお互いの理解と友好を深めました。



三本木高校と 大理高級中学

学校生活や観光地、食生活についてグループ毎に英語でプレゼンテーションを行いました。

また、大理高中的生徒からは英語でのスピーチやダンスの披露がありました。



*台湾の部活動は金曜午後の授業時間にのみ行われることが多く、日本の部活動とは少し異なります。

重点校・拠点校の令和6年度の取組を紹介します

県教育委員会では、県全体における高校教育の質の確保・向上を図るために、普通科等における特色ある教育活動の中核的役割を担う重点校6校、農業科・工業科・商業科における各学科の学習の拠点となる拠点校6校を配置しています。

重点校・拠点校の各校が他校と連携する具体的な取組の一部を紹介します。

重点校

第1期実施計画における重点校の学力向上の取組に加え、探究活動における連携に取り組むこととしています。

取組名 西北地区高校生「みらいを創る」探究活動合同発表会

連携方法 五所川原高校が共同事業体（コンソーシアム）の構築を推進する役割を担い、西北地区の各校の学びの質を高めます。

内容 西北地区の県立高校5校、私立高校2校の全7校が集まり、各校の特色を生かした探究学習の成果について、学校や学科の枠を超えて発表や質疑応答を行います。この取組を通して、新たな視点を生むなど、生徒一人一人の学びを深め、西北地区全体の教育活動の質の向上を図ります。



五所川原高校の生徒が進行を担当



各校が日々の探究学習の成果を発表

拠点校

第1期実施計画に引き続き、拠点校と各校の連携による取組を実施します。

取組名 開発商品販売実習

連携方法 青森商業高校が主体となって、販売実習を企画・実施します。また、各校の取組の情報共有を図り、今後の学習活動の参考とします。

内容 課題研究の学習において、各校の生徒間の連携・協働による問題解決能力の育成を目的として、各校で開発している商品の販売実習を文化祭や地域イベントで実践します。



「青商祭」で青森商業高校、三沢商業高校、八戸商業高校の開発商品を販売



「みさわ七夕まつり」で三沢商業高校と青森商業高校の生徒が一緒に販売実習を実践

問 高等学校教育改革推進室 TEL. 017-734-9866

・・・・・民俗芸能の継承に向けて!・・・・・ ～記録で紡ぐ! 無形民俗文化財継承推進事業～

みなさんは「民俗芸能」を知っていますか?民俗芸能は、地域の生活の中で、祭りや行事のときに演じられる舞や踊りといった芸能のことです。青森県内では、八戸のえんぶりや、下北の能舞、津軽地方の獅子踊、南部駒踊など多種多様な民俗芸能が各地域で継承されています!

しかし、今、青森県内では、継承者の高齢化や、後継者不足、新型コロナウィルス感染症の影響などで、民俗芸能の継承がむずかしい状況が続いています。こうした問題を乗り越え、長い歴史の中で生まれ地域の人々の手で今まで守り伝えられてきた民俗芸能を残すために、県教育委員会では令和6年度に以下の取組を実施しています。

保存団体向け

民俗芸能の記録作成

各保存団体が民俗芸能の継承に使える「誰でもできる記録作成マニュアル」を制作するため、県指定無形民俗文化財の保存団体である吉野田獅子踊保存会（青森市）と金ヶ沢鶏舞保存会（新郷村）に協力いただき、弘前大学と連携しながら映像による記録作成を実施しています。

マニュアルは、舞うときの動き方や、お囃子のやり方などを、保存団体が自分たちで記録できるようなものを目指しています。

収集した記録映像は、マニュアル制作の素材として活用していきます。



記録映像撮影



継承状況の聞き取り調査

一般の方向け

民俗芸能上演・体験会の開催

特別史跡三内丸山遺跡を会場に、三内丸山縄文秋祭りに合わせて民俗芸能上演会と体験会を開催しました!迫力ある吉野田獅子踊に興味を持った子どもたちが、踊やカネ、太鼓の演奏等の体験に積極的に参加してくれました。

このような民俗芸能に触れることができる取組を通して、子どもたちに民俗芸能への興味・関心を持ってもらうことで、将来の担い手育成につなげていきます。

上演・体験会の様子は県教委公式Instagram「あおはるあおもり」で発信しています!ぜひご覧ください!



上演会



体験会

問 文化財保護課 文化財グループ TEL. 017-734-9920

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします

令和6年4月18日(木)に実施された全国学力・学習状況調査(文部科学省)の結果をお知らせします。

本県児童生徒の教科調査の結果については、全国平均と同程度となりました。

図1は児童生徒への質問調査の結果で、授業改善が進み、こどもたちが前向きに授業に取り組んでいることがわかります。

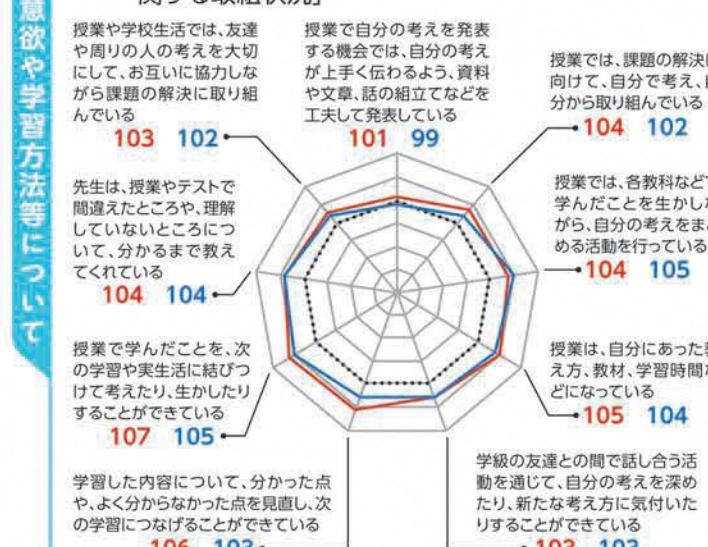
図2は、子どものウェルビーイングについて児童生徒の回答をまとめたものです。本県児童生徒が、笑顔で、学ぶことを楽しいと思えるよう、学校・地域・保護者が協力して取組を考えるきっかけにしていただきたいと思います。

各教科の平均正答数	小学校6年 国語(全14問) 算数(全16問)	
	青森県	全国
	9.8	10.3
	9.5	10.1
中学校3年 国語(全15問) 数学(全16問)		
青森県	8.5	8.1
全国	8.7	8.4

テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をする時間が短い児童生徒の方が、教科の平均正答率が高い傾向が見られました。

1日当たり3時間以上テレビゲームをする児童生徒の割合は、本県の小学校は全国平均より高く、中学校は全国平均より低くなっています。

図1:「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況」



— 青森県公立小学校 — 青森県公立中学校 全国(公立)

※数値は全国(公立)を100とした時の青森県(公立)小学校及び中学校の状況を、(本県の肯定的回答数)÷(全国の肯定的回答数)×100で示したものである。

調査の概要

● 調査を実施した教科

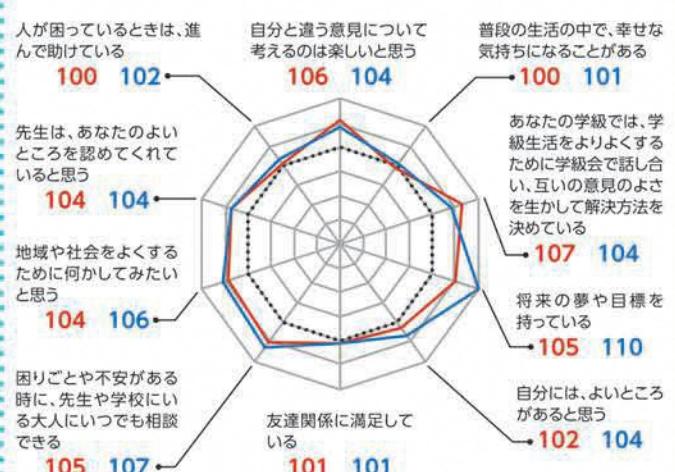
小学校6年生：国語・算数
中学校3年生：国語・数学

● 学習意欲や学習方法等に

について児童生徒や学校に尋ねる調査を、ICT端末を活用しオンラインで実施



図2:「子どものウェルビーイングに関連すると考えられる項目」



青森県教育委員会HPから
ダウンロードできます

全国学力・学習状況調査
本県の結果と今後の対策



問 学校教育課 小中学校指導グループ TEL. 017-734-9895

あおもりの中学生・高校生による 「大切なあなたへ薦める青春の一冊」

県教育委員会では、中学生・高校生の皆さんにより本に親しんでもらうために、仲間や友達などへのおすすめの本の紹介文を募集しました。今年度は、4,158点の応募があり、以下のとおり最優秀賞、優秀賞が決定しました。

中学生の部

最優秀賞 青森市立新城中学校2年 丹代 さくら 「52ヘルツのクジラたち」(町田 そのこ／著)

優秀賞 八戸市立第二中学校3年 田村 未奈 「かがみの孤城」(辻村 深月／著)

黒石市立黒石中学校3年 白戸 アリア 「嫌われる勇気」(岸見 一郎, 古賀 史健／著)

八戸市立下長中学校2年 小林 朔瑠 「もしも徳川家康が総理大臣になったら」(眞邊 明人／著)

南部町立福地中学校1年 金浜 蒼陽 「失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!」(大野 正人／著)

弘前大学教育学部附属中学校2年 日ヶ久保 乃愛 「大丈夫じゃないのに大丈夫なふりをした」(クルベウ／著)

高校生の部

最優秀賞 県立八戸商業高等学校2年 小坂 羽純 「そして、バトンは渡された」(瀬尾 まいこ／著)

優秀賞 県立八戸商業高等学校3年 八重垣 樹李 「明日は明日の日が昇るけど、今夜はどうしよう」(ヨンジョン／著)

県立八戸商業高等学校3年 川畠 悠 「夜明けのすべて」(瀬尾 まいこ／著)

県立五所川原工科高等学校2年 林 晏未 「かがみの孤城」(辻村 深月／著)

県立八戸商業高等学校1年 庭田 璃央 「花咲舞が黙ってない」(池井戸 潤／著)

県立弘前実業高等学校2年 葛西 莉央 「幽落町おばけ駄菓子屋」(蒼月 海里／著)

受賞作品が 決定しました!



いじめ防止標語コンクール

令和6年度いじめ防止標語コンクールには、9,280点の応募がありました。審査の結果、以下の作品が優秀作品に決定しました。今後、優秀作品をもとにした動画を制作する予定ですので、ぜひご覧ください。

無言でも 寄り添い君を 救いたい
(青森市立新城中学校1年 木村 桜花)

気がついた? いじめと同じ 「無関心」
(つがる市立瑞穂小学校6年 工藤 瑠子)

「助けて」と 言えないあの子に 寄りそって
(県立弘前実業高等学校2年 葛西 莉央)

ありがとう いまのことば わすれない
(六ヶ所村立千歳平小学校4年 佐藤 ほのか)

すこしまで いってはいけない ことばかも
(むつ市立奥内小学校1年 野口 妃)

「助けてよ」 その一言に 気づきたい
(階上町立道仮中学校2年 村田 康汰郎)

過去に制作した
動画はこちらから
視聴可能です。



審査員特別賞 「それ、やめよう。」いうのこわいけど、わたしは、ともだちまもりたい。
(弘前市立岩木小学校1年 木立 一花)

ちゃんと見て 相手の心の 信号を
(中泊町立中里中学校1年 外崎 澄)

大丈夫 震えた声は SOS
(中泊町立中里中学校3年 加藤 彩姫)

見てみぬふり やめて 心の目を向けよう
(県立八戸第一養護学校高等部1年 佐々木 結愛)



問 生涯学習課 企画振興グループ TEL. 017-734-9888

私たち、こんな活動しています! ~平内町立平内中学校における業務改善の取組~

平内町立平内中学校では、先生が子どもたちと向き合う時間を増やすために、職員が一丸となって、業務の見直しに取り組んでいます。これまでの取組の目的や価値を再確認しながら、「生徒も教職員も笑顔あふれる学校のために、みんなでできること」を考えています。



STEP1 アイディア出し

それぞれが関心のあるテーマを選択し、業務改善のアイディアを出し合いました。

本日みんなで検討するテーマ

校務分掌の主任や担当以外でも知恵を出し合う日
☆関心のあるテーマを選んで席に座ってください!

スクリーン

1.時程	2.宿題	3.〇〇指導(掃除/給食)
4.担任制	5.校内研究	6.行事
7.部活動	8.保護者/地域	10.その他



STEP2 プロジェクトチーム発足

4つのプロジェクトチームを発足。職員会議を効率よく行うことで時間を作り出し、作戦会議を重ねました。

時間割の見直し

例) ゆとりをもった登校時刻の設定

行事など特別活動の見直し

例) 中体連報告会の短縮

ICTを活用した業務改善

例) 宿題一覧をアプリで共有し、書き写す時間を短縮

清掃指導の見直し

例) 清掃回数を週2回にするとともに、きれいに使う意識を向上

STEP3 チーム間交流

企画を持ち寄り、各チームの先生同士が混ざり合って、アイディアをブラッシュアップ!



アイデア実現に向けて、絶賛取組中!

おしらせ

X・Instagramでも情報発信中!



図書館・近代文学館からのおしらせ

◆おはなし会

読み聞かせボランティアと図書館職員による絵本の読み聞かせや、子供たちからリクエストのあった絵本の紹介を行います。

●日 時／令和7年3月8日(土) 14:00～14:30
●場 所／青森県立図書館 児童閲覧室おはなしコーナー

◆おしえて先生! 知るしるする探検隊

科学の実験やいろいろな仕事の人との交流、スポーツなどの体験、本の紹介などを行います。

●日 時／令和7年2月22日(土)
「じょうもんしおりをつくろう」14:00～15:00
●場 所／青森県立図書館
児童閲覧室おはなしコーナー

問 青森県立図書館 TEL.017-739-4211
<https://wwwplib.pref.aomori.lg.jp/>



◆企画展「あおもりの校歌」

青森ゆかりの作家や著名な作家が作詞した県内各地の校歌を調査し、作家と学校との繋がりについて紹介します!

なつかしい校歌に出会えるかも?

ぜひご来館ください!

●期 間／開催中～令和7年3月23日(日)
●場 所／青森県近代文学館(青森県立図書館2階)

問 青森県近代文学館 TEL.017-739-2575
<https://wwwplib.pref.aomori.lg.jp/>



企画展「衣食住から探る縄文人の暮らし」開催!

この展覧会では、三内丸山遺跡の出土品を紹介しながら、縄文時代のムラでの生活の様子に迫ります。会場では、縄文時代にまつわる体験を組み込むなど、お子さまから大人の方まで楽しんでいただけるような工夫を凝らしています。ぜひご観覧ください。

●開催期間／開催中～令和7年3月9日(日)
●観覧料／常設展観覧料でご覧いただけます。
(一般／410円、高校生・大学生等／200円、中学生以下無料)

問 三内丸山遺跡センター TEL.017-766-8282
<https://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>



青森県立郷土館 土曜セミナー

郷土の歴史や文化、自然などについて、専門家が楽しくわかりやすくお話しする講座です。受講料は無料で、どなたでも受講できます。

なお、当セミナーは「あおもり県民カレッジ」の単位取得講座(1回2単位)です。

●期 日／令和7年3月1日(土)
●テマ／「浅虫自然観察会の報告」
●時 間／13:30～15:00(受付時間13:00から)
●場 所／青森県総合社会教育センター4階 第2多目的研修室

●受講料／無料
●定員／40人(当日先着順)
詳しくは当館ホームページをご覧ください。

問 青森県立郷土館 TEL.017-777-1585
<https://www.kyodokan.com>



青森県学生寮入寮生募集

◆東京都小平市にある大学・専門学校生のための男子学生寮



●入寮資格／保護者が青森県民で、東京都又はその近郊の大学、専門学校等に在学しているか、令和7年4月に入学見込みの男子学生

●場所／東京都小平市鈴木町1丁目103の1
●部屋／個室で、ベッド、机、エアコン等が備え付けてあります。

●経費／入寮費年額3万円、寮費月額3万円、食費1食550円(平日の夕食のみ)、電気料金実費(上・下水道料金無料)、インターネット月額約2,000円

●募集人員／約50人(近年は居室に余裕があります。)

●募集期間／募集中～令和7年3月28日(金)

●申込方法／県内の各高校又は各教育事務所にある願書等に必要事項を記入の上、添付書類とともに青森県育英奨学会へ提出してください。(大学等の合格前でも出願できます。)願書等の様式は県庁HPからダウンロードすることができます。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

問 青森県育英奨学会(教職員課内)

TEL. 017-734-9879

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-kyoin/syogakukin-boshuu.html>

